

ジャパンオープンチアリーディング選手権 2016
兼日本代表チーム選考会
ダンス部門一般ルール

I. 大会スケジュール

2016年10月1日(土)

II. 部門(ダンス8部門)

A) チーム部門 (4部門)

1. Pom 部門 9編成 (Tiny/Mini/Youth/Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)
2. Hip Hop 部門 9編成 (Tiny/Mini/Youth/Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)
3. High Kick 部門 9編成 (Tiny/Mini/Youth/Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)
4. Jazz 部門 9編成 (Tiny/Mini/Youth/Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)

B) ダブルス部門 (3部門)

1. Pom Doubles 6編成 (Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)
2. Hip Hop Doubles 6編成 (Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)
3. Jazz Doubles 6編成 (Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学)

C) エキシビジョン部門 (1部門)

III. 演技時間

A) チーム部門 : 2分30秒以内

B) ダブルス部門 : 1分30秒以内

C) エキシビジョン部門 チーム部門同様

※ 演技時間計測のタイミングは、振りの動き出しまたは音楽の始まりで開始し、最後の振りの動きまたは音楽の終わりで終了とする。

IV. チームサイズ、チーム毎の人数

A) チーム部門 4~24名 (代表選考希望の場合は16~24名)

B) ダブルス部門 2名

C) エキシビジョン部門 5名以上

V. 選手の年齢

1. 代表選考を希望しない基準日 (2017年4月1日時点での年齢)

全ての部門 Tiny/Mini/Youth/Junior/Senior 編成

2. 代表選考を希望しない基準日 (2016年4月2日時点での年齢)

全ての部門 Open/中学校/高校/大学 編成

3. 代表選考を希望する基準日 (2017年12月31日時点での年齢)

チーム Pom/Hip Hop/High Kick 部門 Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学 編成

ダブルス Pom/Hip Hop 部門 Junior/Senior/Open/中学校/高校/大学 編成

VI. 演技フロア

42 フィート×42 フィート (約 12.8m×12.8m)

VII. クロスオーバー (選手の重複参加)

同編成内での部門重複エントリーは可能

(例外：チーム部門とダブルス部門は編成が異なる重複エントリーも可能)

VIII. チアジャパンアンチドーピング規約：ガイドラインと手続き

チアジャパンはアンチ・ドーピングを取り入れ、チアジャパンと WADA (世界アンチ・ドーピング機関) は我々の選手の安全と公正な競技のために、その規約に則った活動をしている

IX. 違法賭博と厳正なる結果確定へのチアジャパン規則と規約について

チアジャパンは不正賭博と厳正なる結果確定について選手のフェアプレイと競技の品性を保つために規則と規約に則った運営を行う

ジャパンオープンチアリーディング選手権 2016
兼日本代表チーム選考会
ダンス部門 ルールと規則

I. 一般ルール

1. 全てのチームは監督・アドバイザー・コーチの監督を受けていること。
2. 全ての監督・アドバイザー・コーチは不急の事態に備えておくこと。

II. 大会

1. ジャパンオープンチアリーディング選手権 2016 兼日本代表チーム選考会は 2016 年 10 月 1～2 日に行われる。
2. 大会は代々木第二体育館にて行うことを予定する。
3. 大会の運営者側は、大会の安全に遂行するために天候、施設の問題、テレビ放映に関する必要性、また他の理由により、大会の時間や場所を変更する権利を有する。

III. 運営上の質問について

A) ルールと手続き

ルールや手続きに関する質問はチームの監督またはコーチからのみ大会運営側に問い合わせること。大会での演技に先立って済ませること。

B) 演技

演技に関する質問は演技終了後、または大会終了後までに速やかに大会運営側に行うこと。

IV. スポーツマンシップ

全ての参加者は、イベントを通してスポーツマンシップにのっとり行動する事。各チームの監督・指導者・コーチは、各選手、コーチ、父兄およびその他の関係者がしかるべく行動するよう監督する。スポーツマンシップに著しく反する行為は参加資格剥奪の対象となる。

V. 演技の中断

A) 不測の事態

1. 大会施設、設備の不備、その他避けがたい要因で演技が中断された場合は、大会役員の判断で演技を止めることができる。
2. 演技は最初からやり直しができるが、ジャッジは中断した箇所から行う。中断の程度や影響は大会役員が判断する。
3. もしチームが再演技をしても完全な演技ができなかったとすれば、より低い点数しか獲得できないことになる。

B) チーム側の不備

1. チームの不備で演技が中断した場合は、チームは演技を続けるか棄権しなくてはならない。
2. チームがもう一度演技できるかどうかは大会役員が判断する。役員が再演技を選択した場合は演技を最初から行えるが、ジャッジは中断したところから行う。
3. チームが再演技をしても完全な演技ができなかったとすれば、より低い点数しか獲得できないことになる。

C) 怪我

1. 怪我による演技の中断を求めることができるのは a) 大会役員、b) チーム関係者・コーチ、c) 怪我をした本人
2. チームが再度演技できるかどうかは大会役員が判断する。再演技が許可された場合でも、スケジュールのどこで演技するかを決めるのは大会役員である。演技は最初から行えるが、ジャッジは中断したところから行う。
3. チームが再演技をしても完全な演技ができない場合、より低い点数を獲得することとなる。
4. 怪我をした選手は以下のものがなくては演技に戻ることはできない。
 - (a) 第1に大会側が用意した医療関係者もしくはチームの医療関係者、第2に保護者、そしてチームコーチや関係者からの承諾
 - (b) もしもチームの医療関係者がいない場合は保護者または法定後見人からの承諾
 - (c) 脳震盪の疑いがある場合には、頭部外傷に関する研修を受けた医師 (M.D.か D.O.)の許可なしに演技を再開することはできない。親、または法定後見人からの権利放棄があったとしても、24時間は演技の再開はできない。 ※M.D. (Medicine Doctor) D.O. (Doctor of Osteopathic Medicine)
 - (d) 頭部外傷に関するルールその他、開催地に於ける特別な法律についても熟知しておくことを推奨する。

VI. ルールの解釈

ルールや規則の判断は大会に関係することであればルール委員会から発表される。ルール委員会は大会の精神や目標に沿った判断を決定する。ルール委員会は大会役員、ヘッドジャッジ、大会関係者で構成される。

VII. 資格はく奪

大会が設ける「ルールと規則」が守れないチームは賞や順位がはく奪されることもある。また次年の参加資格も失うこともある。

VIII. 共通安全規定

1. 全ての選手は監督、コーチの監督を受けること。
2. コーチは技の向上に先立ってコーチという任務への熟達が必要である。コーチは選手やチームの技術レベルに適した内容が実践できるようにすること。
3. 全てのチーム運営者、監督、コーチは不急の事態に備えておくこと。
4. 選手もコーチも、十分な監督や安全な演技を行う能力を妨げるようなアルコール、麻薬、筋肉増強剤、処方薬の影響下にある場合は、練習や演技を行ってはならない。
5. 選手はいつでも適正な場所で練習、演技すること。コンクリート、濡れている場所、平らでない場所、障害物のある場所では行わないこと
6. 競技の間は靴を着用する。靴下やタイツのみの着用は禁止。
7. アクセサリーは衣装の一部としてのみ使用可能。
8. 競技者は演技の間は交代してはならない。
9. 窒息を防ぐため、選手は練習でも大会演技時でもガム、キャンディー、咳止めドロップなどの食べるもの、または食べ物以外でも、口に入れてはいけない。

IX. ユニフォームガイドライン

性的感情を誘発したり、猥褻じみた下着のように見えるユニフォームや衣類は禁止。適切な下着を着用しなければならない。全ての衣装、メイクは年齢相応で、家族連れの観客が見るにふさわしいものであること。